

北海道調理新聞

発行所(二社)北海道全調理師会
札幌市中央区南八条西二丁目
(市民活動プラザ星園四〇四)
電話 〇一一五二一三三六
FAX 〇一一五二一三五一
発行人 小泉 哲也
誌代 一部 二〇〇円

令和8年度 一般社団法人北海道全調理師会 定期総会開催

日時 2026年5月13日

場所 札幌市民活動プラザ星園



定期総会の様子



定期総会の様子



北海道保健福祉部健康安全局長 岡村 卓治 様



(右) 議長 安藤副理事長 (左) 副議長 鈴木副理事長

5月13日(水)、市民活動プラザ星園大会議室において「令和8年度定期総会」が開催されました。

本田卓也氏の司会進行により、物故会員への黙祷の後、葛西副理事長の開会宣言により総会はスタート。伊藤事務局長より、本日の出席者数(委任状を含む)は、定款第18条第1項に定められている定足数を上回っており、総会は成立することの報告がありました。

議長団降壇の後、山崎副理事長の閉会宣言により約1時間の定期総会は滞りなく終了いたしました。定期総会終了後、同じ会場において、令和8年度北全調功績表彰式が開催され、受賞者の永年の努力を讃える式典となりました。

定期総会後の懇親会は、場所を移動し、札幌パークホテルで開催され、多くの議員の先生方、協賛商社のご来賓をお迎えし、親しく会員相互の懇親の場となり、盛会のうちに終了いたしました。

部の進行により、審議され、提出された第1号議案から第5議案まで全ての議案が可決となりました。

議長団降壇の後、山崎副理事長の閉会宣言により約1時間の定期総会は滞りなく終了いたしました。定期総会終了後、同じ会場において、令和8年度北全調功績表彰式が開催され、受賞者の永年の努力を讃える式典となりました。

小泉理事長 定期総会挨拶

皆様、本日はご多忙のところ、令和8年度北海道全調理師会の定期総会にご出席賜り、誠にありがとうございます。また、ご来賓の皆様におかれましては、日頃より本会の活動に格別なるご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、近年の調理師業界は、社会環境の変化や人手不足、物価の上昇など、さまざまな課題に直面しております。しかしその一方で、北海道産食材の魅力が国内外から注目を集めており、私たち調理師の技と創意が、地域の食文化を支え、観光振興や地域活性化に大きく寄与できる時代でもあります。

本会では昨年度、調理師全道研修大会、各ブロック、各支部の研修会などを通して、調理技術の研鑽はもとより、次代を担う若手人材の育成や、地域に根差した食育活動にも力を入れてまいりました。



小泉理事長のご挨拶

さらには、道産ふぐの活用促進など、北海道ならではの食の可能性を広げる取り組みも進めております。これらの活動は、ひとえに会員の皆様のご尽力と、関係各位のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

本日の総会では、これまでの活動を振り返るとともに、今後の方針や事業計画についてご審議いただきます。引き続き、調理師の社会的地位の向上と、食の安全・安心の確保、そして地域に貢献できる組織としての発展を目指し、会員一同、力を合わせてまいります。

結びに、本日ご出席の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。簡単ではございますが、開会のご挨拶とさせていただきます。

令和8年度 北全調功績表彰 受賞者

◆ 理事長表彰

- 二本柳 司 (函館支部)
- 佐々木 健一 (函館支部)
- 柿崎 政直 (室蘭支部)
- 井貝 伸一 (小樽支部)
- 青木 隆治 (札幌中央支部)
- 竹口 悟志 (札幌中央支部)
- 山田 晃司 (札幌中央支部)
- 山本 敦久 (札幌中央支部)
- 宗片 義巳 (滝川支部)
- 安原 雅樹 (滝川支部)
- 平山 ひとみ (芦別支部)
- 石塚 常雄 (富良野支部)
- 石塚 成一 (富良野支部)
- 笠木 崇光 (遠軽支部)
- 岸山 絵里子 (紋別支部)
- 齊藤 弥弥 (紋別支部)
- 清水 英和 (網走支部)
- 吉野 晴輝 (釧路支部)
- 谷口 幸治 (中標津支部)
- 上村 岳史 (帯広支部)
- 稲垣 泰英 (帯広支部)
- 瀬田 建太郎 (帯広支部)
- 山田 耕平 (帯広支部)

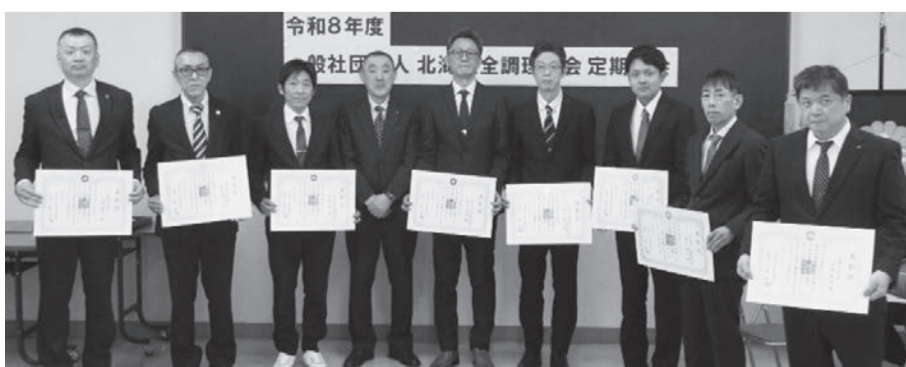
◆ 理事長感謝状 (会員外功労者)

- 美鈴商事株式会社 代表取締役 鈴木 修平 (函館支部)
- 株式会社道南食肉センター 代表取締役 吉村 昭夫 (函館支部)
- 株式会社黒羽商店 代表取締役 黒羽 敦支 (札幌中央支部)
- 株式会社マコト屋 代表取締役 鎌田 淳 (札幌中央支部)
- 株式会社マツオ 代表取締役 松尾 吉洋 (滝川支部)
- すみれ旅館 代表 松谷 都生 (富良野支部)

令和8年度 北全調功績表彰



表彰状の授与



理事長表彰を授与された皆様



受賞者代表謝辞 山本 敦久 氏